

別表1 日常の火災予防の担当者と日常の注意事項 [百貨店等の記載例]

防火管理者		役職・氏名 <u>店長・〇〇 〇〇</u>					
防火担当責任者		火元責任者		防火担当責任者		火元責任者	
担当区域	氏名	担当区域	氏名	担当区域	氏名	担当区域	氏名
地下1階	保安室長 〇〇〇〇	保安室	〇〇〇〇	5階	5階売場主任 〇〇〇〇	子供服売場	〇〇〇〇
		駐車場	〇〇〇〇			玩具売場	〇〇〇〇
1階	1階売場主任〇〇〇	日用品売場	〇〇〇〇	6階	6階主任〇〇〇〇	食堂	〇〇〇〇
2階	2階売場主任〇〇〇	婦人服売場	〇〇〇〇	7階	総務課長〇〇〇〇	更衣室	〇〇〇〇
3階	3階売場主任〇〇〇	紳士服売場	〇〇〇〇				
4階	4階売場主任〇〇〇	家具売場	〇〇〇〇				
担当者の任務							
防火管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設の防火管理業務の統括責任者 ・防火担当責任者と火元責任者に対し指導監督を行う。 						
防火担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当区域の火災予防について責任を持つとともに、火元責任者に対し指導監督を行う。 ・防火管理者の補佐を行う。 						
火元責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・担当区域の火災予防について「自主検査チェック表」などに基つきチェックし、防火管理者に報告する。 						
従業員等の注意事項							
<ol style="list-style-type: none"> 1 消火器、屋内消火栓などが設置してある場所や階段、通路、出入口などの周辺には物品を置かないこと。 2 防火戸の付近には、閉鎖の障害となる物品を置かないこと。 3 火気設備器具の周辺は、よく整理整頓して、燃えるものを接して置かないこと。 4 休憩室、事務室などから最後に出る人は、必ず火の始末をすること。 5 従業員、職員等の喫煙は、指定された場所で行い、必ず吸殻入れを用いて喫煙すること。 6 死角となる廊下、階段室、トイレなどに燃えるものを置かないこと。 7 危険物品等を使用するときは、防火管理者の承認を得ること。 8 異常事態が発生したときは、必ず防火管理者に報告すること。 9 喫煙場所などの吸殻入れ、通路のゴミ入れを確認するほか、吸殻は不燃性の蓋付き水入り容器に入れるなどして処分すること。 10 建物内外の整理整頓を行い、ゴミやダンボール箱など燃えやすいものは、決められた時間以外は、外に出さないこと。 11 電気、ガスなどの火気設備器具のスイッチを切り、各室の安全を確かめた後に施錠すること。 12 火元責任者は、担当区域の火気の状態を責任を持って管理すること。 13 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は持ち込まないこと。 (2) 色別された避難通路上へのはみ出し陳列（ワゴン、平台、ハンガーなど）は、行わないこと。 (3) 裸火の使用又は危険物品を持ち込むことは、防火管理者の承認を得ること。 (4) 店内で、喫煙しているお客を発見した場合は、直ちに制止させること。 							

別表1の用途別の従業員等の留意事項

別表1の従業員等の注意事項の「その他」欄には、各用途に応じて次の内容等必要な事項を記入します。

(1) 劇場等

- ア 場内で喫煙している観客を発見した場合は、直ちに制止させること。
- イ 観客には、喫煙場所以外では、喫煙させないこと。
- ウ シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は、持ち込ませないこと。
- エ 舞台部両そで、奈落、大道具室、小道具室等は、整理整頓すること。
- オ 舞台装置としての臨時配線は、適正かつ慎重に使用し、異常を発見した場合は直ちに防火管理者に報告すること。

(2) キャバレー等

- ア お客が吸ったたばこは、完全に消して、指定の場所に捨てること。
- イ シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は、持ち込ませないこと。
- ウ 厨房は、常に整理整頓し、グリスフィルターは定期的に清掃すること。

(3) 遊技場等

- ア お客の入替えごとに吸殻、ゴミ屑の処理を行う。
- イ シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は、持ち込ませないこと。
- ウ 厨房は、常に整理整頓し、グリスフィルターは定期的に清掃すること。
- エ 揚げ物等の調理を行っている場合は、調理担当者は絶対に持ち場を離れないこと。

(4) 飲食店等

- ア お客が吸ったたばこは、完全に消して、指定の場所に捨てること。
- イ シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は、持ち込ませないこと。
- ウ 厨房は、常に整理整頓し、グリスフィルターは定期的に清掃すること。
- エ 揚げ物等の調理を行っている場合は、調理担当者は絶対に持ち場を離れないこと。

(5) 百貨店等

別表1の例示のとおり。

(6) ホテル等

- ア チェックインした宿泊客には、必ず避難経路図の貼付位置と非常口の位置を教えること。
- イ チェックアウトした室内の火の元を確認し、宿泊客が吸ったたばこは、完全に消して指定の場所に捨てること。
- ウ シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は、持ち込ませないこと。
- エ 厨房は、常に整理整頓し、グリスフィルターは定期的に清掃すること。
- オ 揚げ物等の調理を行っている場合は、調理担当者は絶対に持ち場を離れないこと。

(7) 病院等

- ア 入院患者や入居者等には、喫煙場所以外では、喫煙させないこと。
- イ 手術準備室で使用する煮沸消毒器は、可燃物との接触、空焚き、消し忘れに注意すること。
- ウ 施設内で生活訓練、職業訓練に伴う火気設備器具を使用する場合は、職員による作業中の巡視、作業終了後の火気点検を実施すること。(社会福祉施設等)

(8) 幼稚園等

- ア 厨房は、常に整理整頓し、グリスフィルターは定期的に清掃すること。
- イ 担任以外の先生の指示にも従って行動できるよう教育しておく。
- ウ 揚げ物等の調理を行っている場合は、調理担当者は絶対に持ち場を離れないこと。

(9) その他の用途

- シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は、持ち込ませないこと。

別表2 自主検査チェック表（日常）「火気関係」

○ 月

実施責任者		火元責任者 ○○○○			担当区域		2階A課B室	
日	曜日	実施項目						
		ガス器具のホース老化・損傷	電気器具の配線老化・損傷	火気設備器具の設置・使用状況	吸殻の処理	倉庫等の施錠確認	終業時の火気の確認	その他（共用部分の可燃物の有無等）
1	月	○	○	○	○	○	○	○
2	火	○	○	○	○	○	○	○
3	水	○	○	○	○	○	○	○
4	木	○	○	×	○	△	○	○
5								
6								
30								
31								

(備考) 不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。
 (凡例) ○…良 ×…不備・欠陥 △…即時改修

	防火管理 者確認	
--	-------------	--

別表3 自主検査チェック表（日常）「閉鎖障害等」

実施責任者		火元責任者 ○○○○			担当範囲		1階				
実施日時		4/1 10時			4/1 16時		4/2 9時		4/2 18時		
実施項目		確認箇所		チェック状況		チェック状況		チェック状況		チェック状況	
避難障害	避難口	南側出入口		○		○		○		○	
		東側出入口		○		○		○		○	
	廊下避難通路	北側廊下		○		○		○		○	
		事務所内通路		○		○		○		○	
	階段	A階段		△	ダンボール箱	○		△	ショーケース他	△	ダンボール箱
B階段		○		○		○		○			
閉鎖障害	防火戸、防火シャッター	A階段防火戸		○		○		○		○	
		B階段防火戸		○		○		○		○	
		居室内防火シャッター		○		○		○		○	
操作障害等	屋内消火栓	A階段脇消火栓前		○		○		○		△	ダンボール箱
		B階段脇消火栓前		○		○		○		○	
	自火報		受信機電源スイッチ		○		△	断	○		○
備考				ダンボール箱を除去防火管理者へ報告		スイッチ復旧防火管理者へ報告		ショーケース他を除去防火管理者へ報告		ダンボール箱を除去防火管理者へ報告	

(備考) 不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。
 (凡例) ○…良 ×…不備・欠陥 △…即時改修

	防火管理 者確認	
--	-------------	--

別表4 自主検査チェック表（定期）

実施項目		確認箇所	検査結果
建築物構造	(1) 基礎部	上部の構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等がないか。	○
	(2) 柱・はり・壁・床	コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。	○
	(3) 天井	仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。	○
	(4) 窓枠・サッシ・ガラス	窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下又は枠自体のはずれのおそれのある腐食、緩み、著しい変形等がないか。	○
	(5) 外壁（貼石・タイル・モルタル・塗壁等） ・ひさし・パラペット	貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上り等が生じていないか。	○
	(6) 屋外階段	各構成部材及びその結合部に、緩み・ひび割れ・腐食・老化等はないか。	○
	(7) 手すり	支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。	○
	(8) 消防隊非常用進入口	表示されているか。また、進入障害はないか。	○
防火設備	(1) 外壁の構造及び開口部等	① 外壁の耐火構造等に損傷はないか。 ② 外壁の近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積及び避難の障害となる物品等を置いていないか。 ③ 防火戸は円滑に開閉できるか。	○ ○ ○
	(2) 防火区画	① 防火区画を構成する壁、天井に破損がないか。 ② 階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。 ③ 自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸等のくぐり戸が最後まで閉まるか。 〔確認要領〕・常時閉鎖式は最大限まで開放して閉まるのを確認する。 ・煙感知器連動閉鎖式は、防火戸を止めているマグネット等を手動により外し自動的に閉鎖するのを確認する。 ④ 防火シャッターの降下スイッチを作動させ、防火シャッターが最後まで降下するか。 ⑤ 防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じていないか。 ⑥ 防火ダンパーの作動状況は良いか。	○ ○ ○ ○ ○ ○
避難施設	(1) 廊下・通路	① 有効幅員が確保されているか。 ② 避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。	○ ○
	(2) 階段	① 手すりの取り付け部の緩みと手すり部分の破損がないか。 ② 階段室の内装は不燃材料になっているか。 ③ 階段室に設備・機器等の障害物を設置していないか。 ④ 非常用照明がバッテリーで点灯するか。	○ ○ ○ ×
	(3) 避難階の避難口（出入口）	① 扉の開放方向は避難上支障ないか。 ② 避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。 ③ 避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。 ④ 避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に障害物はないか。	○ ○ ○ ○

火 気 設 備 器 具	(1) 厨房設備 (大型レンジ、フライヤー等)、ガスコンロ、湯沸器	① 可燃物品からの保有距離は適正か。 ② 異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。 ③ ガス配管は亀裂、老化、損傷していないか。 ④ 油脂分を発生する器具の天蓋及びグリスフィルターは清掃されているか。 ⑤ 排気ダクトの排気能力は適正か。また、ダクトは清掃されているか。 ⑥ 燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。	○ ○ ○ × ○ ○		
	(2) ガスストーブ、石油ストーブ	① 自動消火装置は適正に機能するか。 ② 火気周囲は整理整頓されているか。	○ ○		
電 気 設 備	(1) 変電設備	① 電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。 ② 変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。 ③ 変電設備に異音、過熱はないか。	○ ○ ○		
	(2) 電気器具	① タコ足の接続を行っているか。 ② 許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。	○ ○		
危 険 物 施 設	(1) 少量危険物貯蔵取扱所	① 標識は掲げられているか。 ② 掲示板(類別・数量等)には、正しく記載されているか。 ③ 換気設備は適正に機能しているか。 ④ 容器の転倒、落下防止措置はあるか。 ⑤ 整理清掃状況は適正か。 ⑥ 危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。 ⑦ 屋内タンク、地下タンクの場合に、通気管のメッシュに亀裂等はないか。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
	(2) 指定可燃物貯蔵取扱所	① 標識は掲げられているか。 ② 貯蔵取扱所周囲に火気はないか。 ③ 整理整頓(集積)の状況は良いか。	○ ○ ○		
検査実施者氏名		検査実施日	検査実施者氏名	検査実施日	防火管理者確認
構造関係	○○ ○○	○年4月○日	火気設備器具	○○ ○○	○○ ○○
防火関係	○○ ○○	○年4月○日	電気設備	○○ ○○	
避難関係	○○ ○○	○年4月○日	危険物施設	○○ ○○	

(備考) 不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

(凡例) ○…良 ×…不備・欠陥 △…即時改修

別表5 消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検チェック表

実施設備	確認箇所	点検結果
消火器 (○年4月1日実施)	(1) 設置場所に置いてあるか。 (2) 消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。 (3) 安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。 (4) ホースに変形、損傷、老化等がなく、内部に詰まりがないか。 (5) 圧力計が指示範囲内にあるか。	○ ○ ○ ○ ○
屋内消火栓設備 泡消火設備(移動式) (○年4月2日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。 (2) 消火栓扉は確実に開閉できるか。 (3) ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。 (4) 表示灯は点灯しているか。	× ○ ○ ○
スプリンクラー設備 (○年4月2日実施)	(1) 散水の障害はないか。(例 物品の集積など) (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 送水口の変形及び操作障害はないか。 (4) スプリンクラーのヘッドに漏れ、変形はないか。 (5) 制御弁は閉鎖されていないか。	× ○ ○ ○ ○
水噴霧消火設備 (年 月 日実施)	(1) 散水の障害はないか。(例 物品の集積など) (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 管、管継手に漏れ、変形はないか。	
泡消火設備(固定式) (○年4月2日実施)	(1) 泡の分布を妨げるものがないか。 (2) 間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。 (3) 泡のヘッドにつまり、変形はないか。	○ ○ ○
不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉末消火設備 (年 月 日実施)	(1) 起動装置又はその直近に防護区画の名称、取扱方法、保安上の注意事項等が明確に表示されているか。(手動式起動装置) (2) 手動式起動装置の直近の見やすい箇所に「不活性ガス消火設備」「ハロゲン化物消火設備」「粉末消火設備」の表示が設けてあるか。 (3) スピーカー及びヘッドに変形、損傷、つぶれなどはないか。 (4) 貯蔵容器の設置場所に標識が設けてあるか。	
屋外消火栓設備 (年 月 日実施)	(1) 使用上の障害となる物品はないか。 (2) 消火栓扉の表面には、「消火栓」又は「ホース格納箱」と表示されているか。 (3) ホース、ノズルに変形、損傷はないか。	
動力消防ポンプ設備 (年 月 日実施)	(1) 常置場所の周囲に、使用の障害となるような物がないか。 (2) 車台、ボディー等に割れ、曲がり及びボルトの緩みがないか。 (3) 管そう、ノズル、ストレーナー等に変形、損傷がないか。	
自動火災報知設備 (○年4月10日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。 (4) 感知器の破損、変形、脱落はないか。	○ ○ ○ ○
ガス漏れ火災警報設備 (○年4月10日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。 (3) 用途変更、間仕切り変更、ガス燃焼機器の設置場所の変更等による未警戒部分がないか。 (4) ガス漏れ検知器に変形、損傷、腐食等がないか。	○ ○ ○ ○
漏電火災警報器 (年 月 日実施)	(1) 電源表示灯は点灯しているか。 (2) 受信機の外形に変形、損傷、腐食等がなく、油煙、ホコリ、錆等で固着していないか。	

非常ベル (年 月 日実施)	(1) 表示灯は点灯しているか。 (2) 操作上障害となる物がないか。 (3) 押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。	
放送設備 (○年 4 月 10 日実施)	(1) 電源監視用の電源電圧計の指示が適正か、電源監視用の表示灯が正常に点灯しているか。 (2) 試験的に放送設備により、放送ができるかどうか確認する。	○ ○
避難器具 (○年 4 月 15 日実施)	(1) 避難に際し、容易に接近できるか。 (2) 格納場所の付近に物品等が置かれ、避難器具の所在がわかりにくくなっているか。 (3) 開口部付近に書棚、展示台等が置かれ、開口部をふさいでいないか。 (4) 降下する際に障害となるものがなく、必要な広さが確保されているか。 (5) 標識に変形、脱落、汚損がないか。	× ○ ○ ○ ○
誘導灯 (○年 4 月 15 日実施)	(1) 改装等により、設置位置が不適正になっていないか。 (2) 誘導灯の周囲には、間仕切り、衝立、ロッカー等があって、視認障害となっていないか。 (3) 外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ適正な取り付け状態であるか。 (4) 不点灯、ちらつき等がないか。	○ × ○ ○
消防用水 (年 月 日実施)	(1) 周囲に樹木等使用上の障害となる物がないか。 (2) 道路から吸管投入口又は採水口までに消防自動車の進入通路が確保されているか。 (3) 地下式の防火水槽、池等は、水量が著しく減少していないか。	
連結散水設備 (年 月 日実施)	(1) 送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障がないか。また、送水活動に障害となるものがないか。 (2) 送水口に変形、損傷、著しい腐食等がないか。 (3) 散水ヘッドの各部に変形、損傷等がないか。 (4) 散水ヘッドの周囲には、散水を妨げる広告物、棚等の障害物がないか。	
連結送水管 (○年 4 月 20 日実施)	(1) 送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障がないか。また、送水活動に障害となるものがないか。 (2) 送水口に変形、損傷、著しい腐食等がないか。 (3) 放水口の周囲には、ホースの接続や延長等の使用上の障害となる物がないか。 (4) 放水口を格納する箱は変形、損傷、腐食等がなく、扉の開閉に異常がないか。 (5) 表示灯は点灯しているか。	○ ○ ○ ○ ○
非常コンセント設備 (年 月 日実施)	(1) 周囲に使用上障害となる物がないか。 (2) 保護箱は変形、損傷、腐食等がなく容易に扉が開閉できるか。 (3) 表示灯は点灯しているか。	
検査実施者氏名	○ ○ ○ ○	防火管理者確認 ○○ ○○

(備考) 不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

(凡例) ○：良 ×：不備・欠陥 △：即時改修

別表6 消防用設備等・特殊消防用設備等点検計画表

消防用設備等・特殊 消防用設備等の種類	点検実施月日	点検実施月日	
	点検の区分	機器点検	総合点検
消火器		○月、○月	
屋内消火栓設備		○月、○月	○月
スプリンクラー設備		○月、○月	○月
自動火災報知設備		○月、○月	○月
ガス漏れ火災報知設備		○月、○月	○月
放送設備		○月、○月	○月
避難器具（救助袋）		○月、○月	○月
誘導灯		○月、○月	
連結送水管		○月、○月	○月
排煙設備		○月、○月	○月
自家発電設備		○月、○月	○月
総合操作盤		○月、○月	○月
配線			○月

* 消防用設備等・特殊消防用設備等の点検を点検業者と契約している場合

点検設備業者	○○○防災設備管理㈱
住所	○○市○○町○○丁目○○番○○号
電話番号	○○(○○○○)○○○○

別表 7

〇〇株式会社自衛消防隊の編成と任務（その1 本部隊）（例）

自衛消防隊本部長	代表取締役社長	〇〇〇〇	（自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。）		
自衛消防隊長	取締役副社長	〇〇〇〇	（自衛消防隊本部長が不在の場合は、その任務を代行する。）		
自衛消防副隊長	防火管理者	〇〇〇〇	（隊長を補佐し、隊長が不在時は、その任務を代行する。）		
本部隊の編成（平常時）		平常時の任務		警戒宣言発令時の組織編成と任務	
指揮班	班長 (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇)	1 隊長、副隊長の補佐 2 自衛消防本部の設置 3 地区隊への命令の伝達並びに情報の収集 4 消防隊への情報の提供並びに災害現場への誘導 5 その他指揮統制上必要な事項		情報収集班として編成する。	1 報道機関等により東海地震注意情報及び警戒宣言発令に関する情報を収集し、各階に連絡する。 2 周辺地域の状況を把握する。 3 放送設備、掲示板、携帯拡声器等により在館者に対する周知を図る。 4 食料品、飲料水、医療品等及び防災資機材の確認をする。 5 在館者の調査
		1 消防機関への通報並びに通報の確認 2 館内への非常通報並びに指示命令の伝達 3 関係者への連絡（緊急連絡一覧表による。）			
通報連絡班	班長 (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇)	1 出火階に直行し、屋内消火栓による消火作業に従事 2 地区隊が行う消火作業への指揮指導 3 消防隊との連携及び補佐		点検措置班として編成する。	建物構造、防火設備、避難施設、電気、ガス、エレベーター、消防用設備等・特殊消防用設備等、危険物の点検及び保安の措置を講ずる。
		1 出火階並びに上層階に直行し、避難開始の指示命令の伝達 2 非常口の開放並びに開放の確認 3 避難上障害となる物品の除去 4 逃げ遅れの確認及び本部への報告 5 ロープ等による警戒区域の設定			
消火班	班長 (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇)	1 出火階並びに上層階に直行し、避難開始の指示命令の伝達 2 非常口の開放並びに開放の確認 3 避難上障害となる物品の除去 4 逃げ遅れの確認及び本部への報告 5 ロープ等による警戒区域の設定		平常時と同様の編成とする。	混乱防止を主眼として、退館者の案内及び避難誘導を行う。
		1 火災発生地区へ直行し、防火シャッター、防火戸、防火ダンパー等の閉鎖 2 非常電源の確保、ボイラー等危険物施設の供給運転停止 3 エレベーター、エスカレーターの非常時の措置			
避難誘導班	班長 (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇)	1 火災発生地区へ直行し、防火シャッター、防火戸、防火ダンパー等の閉鎖 2 非常電源の確保、ボイラー等危険物施設の供給運転停止 3 エレベーター、エスカレーターの非常時の措置		点検措置班として編成する。	上記の消火班の任務に同じ。
		1 応急救護所の設置 2 負傷者の応急処置 3 救急隊との連携、情報の提供			
安全防護班	班長 (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇) (〇〇〇〇)	1 応急救護所の設置 2 負傷者の応急処置 3 救急隊との連携、情報の提供		情報収集班として編成する。	上記の指揮班と通報連絡班の任務に同じ。
		1 応急救護所の設置 2 負傷者の応急処置 3 救急隊との連携、情報の提供			

〇〇株式会社自衛消防隊の編成と任務（その2 地区隊）（例）

地区隊長（担当区域の初動措置の指揮体制を図るとともに自衛消防隊長（本部）への報告連絡を行う。）

地区隊の編成（平常時）



平常時の任務		警戒宣言発令時の組織編成と任務
通報連絡担当	防災センターへの通報及び隣接各室への連絡	情報収集担当として編成し、テレビ、ラジオ等により情報を収集する。
消火担当	消火器等による初期消火及び本部隊消火班の誘導	点検担当として編成し、担当区域の転倒、落下防止措置を講ずる。
避難誘導担当	出火時における避難者の誘導	平常時と同様の編成とし、本部の指揮により、避難誘導を行う。
安全防護担当	水損防止、電気、ガス等の安全措置及び防火戸、防火シャッターの操作	点検担当として編成し、上記の消火担当の任務に同じ。
救護担当	負傷者に対する応急処置	応急措置担当として編成し、危険箇所の補強、整備を行う。

自衛消防隊の編成と任務（その3 本部隊と地区隊）（例）

自衛消防隊長	代表取締役社長	（自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。）
自衛消防副隊長	防火管理者	（隊長を補佐し、隊長が不在時は、その任務を代行する。）
地区隊長		（担当区域の初動措置の指揮体制を図るとともに自衛消防隊長（本部）への報告連絡を行う。）
自 衛 消 防 隊 の 編 成 （ 平 常 時 ）		
1階 地区隊長 (○○○○)	—	連絡通報担当 (○○○○) 初期消火担当 (○○○○) (○○○○) 避難誘導担当 (○○○○) (○○○○) 安全防護担当 (○○○○) 応急救護担当 (○○○○) (○○○○)
2階 地区隊長 (○○○○)	—	連絡通報担当 (○○○○) 初期消火担当 (○○○○) (○○○○) 避難誘導担当 (○○○○) (○○○○) 安全防護担当 (○○○○) 応急救護担当 (○○○○) (○○○○)
3階 地区隊長 (○○○○)	—	連絡通報担当 (○○○○) 初期消火担当 (○○○○) (○○○○) 避難誘導担当 (○○○○) (○○○○) 安全防護担当 (○○○○) 応急救護担当 (○○○○) (○○○○)
4階 地区隊長 (○○○○)	—	連絡通報担当 (○○○○) 初期消火担当 (○○○○) (○○○○) 避難誘導担当 (○○○○) (○○○○) 安全防護担当 (○○○○) 応急救護担当 (○○○○) (○○○○)
平 常 時 の 任 務		警 戒 宣 言 が 発 せ ら れ た 場 合 の 組 織 編 成 と 任 務
通報連絡担当	消防機関への通報及び通報の確認、館内への非常放送並びに指示命令の伝達、関係者への連絡	情報収集担当として編成し、テレビ、ラジオ等により情報を収集する。
初期消火担当	出火場所への急行、消火器等による初期消火	点検担当として編成し、担当区域の転倒、落下防止措置を講じる。
避難誘導担当	出火時における避難者の誘導、負傷者及び逃げ遅れた者の確認、非常口の開放並びに開放の確認と避難障害物品の除去	平常時と同様の編成とし、本部の指揮により避難誘導を行う。
安全防護担当	水損防止、電気、ガス等の安全措置及び防火戸、防火シャッターの操作	点検担当として編成し、上記の初期消火担当の任務に同じ。
応急救護担当	応急救護所の設置、負傷者に対する応急救護、救急隊との連携、情報の提供	応急措置担当として編成し、危険箇所の補強・整備、救出資機材等の確認を行う。

留意事項

- 自衛消防隊長は、管理権原者又はこれに準ずる者を指定し、自衛消防副隊長には防火管理者又は相当職の者を指定することが望ましく、消防機関に届出する消防計画には役職名などを記入します。
- 地区隊長は階ごとに、受持担当区域内の責任者と通報・消火・避難などの担当者を指定することが望ましく、消防機関に届出する消防計画には役職・係名・係担当者名などを記入します。
なお、事務室等に掲出するものについては、担当者の氏名を記入し、転勤等で替わった場合は、速やかに訂正することが必要です。

別表8 「防災センター要員講習」修了者一覧

平成〇年〇月〇日現在

事業所名		〇〇株式会社		用途	事務所
所在地・電話番号		〇〇市〇〇町〇-〇-〇 〇〇(〇〇〇) 〇〇〇〇			
資格者 氏名	資格取得 年月日	資格番号	本講習修了 年月日	再講習修了 年月日	消防機関 への連絡
〇〇〇〇	〇年〇月〇日	0123456767	年〇月〇日	年〇月〇日	済

別表9 自衛消防訓練実施結果表(表)

実施日時	① 平成 年 月 日 時 分～ 時 分		
実施根拠	② 消防計画の定期・臨時・応援協定	実施計画書	有・無
実施場所	③	参加人員	④ 名
実施範囲	建物：⑤ 全体 ・ 部分 (棟 階)		
	参加事業所・参加部門	⑥	
実施区分	⑦ 実働 ・ 体験 ・ 確認 ・ 図上研究		
⑧実施内容 (1～3については訓練内容を記録する。)	1 総合・消火・消火実放水・通報・避難・検証 2 安全防護・応急救護・地震 3 隊任務・編成・基礎行動・規律 4 消防技術会参加・出初式参加・消防演習参加		
⑨訓練対象者	・従業員(全員・一部)、パート、アルバイト ・自衛消防隊員(全員・一部・特定の人) ・自衛消防隊 本部・地区隊(全員・一部) ・防災センター勤務者		
⑩訓練想定	火災・地震・その他()	発災階()	場所()
⑪訓練指導者	職 氏名		
⑫結果への意見	全体評価 推奨事項・反省点		
⑬記入者	職 氏名		

(裏)

		主 な 訓 練 内 容	実技実施者・体験者名簿
1		自衛消防隊の各任務確認	
2		火災発見時の周知方法	
3		119番通報要領	
4		防災センター、自衛消防隊への連絡要領	
5		在館者への情報伝達、避難指示要領	参加人員 名
6		避難誘導・介助要領	参加人員 名
7		応急救護の措置要領	
8		逃げ遅れ者の確認要領	
9		自衛消防隊本部の設置・運用要領	
10		身体防護（従業員等）、安全確保要領	参加人員 名
11		避難要領（従業員等）	参加人員 名
12		防災センターの運用、活用要領	
消防用設備等・特殊消防用設備等	1	自火報受信機、非常ベルの取扱要領	
	2	火災通報装置の取扱要領	
	3	放送設備、インターホンの取扱要領	
	4	消火器具、屋内消火栓の取扱要領	
	5	消火器、屋内消火栓の実放水体験	
	6	S P、泡消火設備等の取扱要領	
	7	避難器具の取扱要領	
防火設備・避難施設	1	防火戸、防火シャッターの操作取扱要領	
	2	エレベーター、エスカレーターの停止要領	
	3	非常口、避難口、避難通路の確保要領	
	4	非常用エレベーター、排煙設備の操作要領	
そ の 他			

〔記入要領〕

- ① 訓練を実施した年月日及び実施した時間を記入します。
- ② 訓練を実施する根拠及び実施計画書の有無を○で囲みます。
- ③ 自己事業所以外の場所で実施した場合は、所在地及び名称を記入します。
自己事業所で実施した場所は、斜線を記入します。
- ④ 訓練に参加した人数とします。
- ⑤ 訓練の実施範囲は、建物の全体で実施した場合は「全体」を、部分で実施した場合は、「部分」を○で囲みます。
- ⑥ 複数の事業所が訓練に参加した場合は、参加事業所名を記入します。
事業所単独で訓練を実施した場合は、参加した部・課等を記入します。
- ⑦ 訓練を実施した区分について、該当するものをすべて○で囲みます。
- ⑧ 訓練を実施した内容の1～4について、該当するものを全て○で囲みます。
- ⑨ 訓練に参加した者をそれぞれ○で囲み、() 内もそれぞれ○で囲みます。
- ⑩ 火災、地震、その他想定した訓練を○で囲み、その他の() 内には、火災、地震以外に想定した訓練を記入します。なお、地震による火災を想定した場合は、火災・地震の両方を○で囲みます。
火災等の発生の想定火点を、発災の階及び場所に記入します。(例 B 1階、食堂の厨房)
- ⑪ 訓練を指導した者の職・氏名を記入します。
複数の事業所が合同で訓練を実施した場合は、事業所名・職・氏名を記入します。欄に記入できない場合は、別紙に記入して添付します。
- ⑫ 事業所の管理権原者、防火管理者又は協議会の代表者、統括防火管理者、各事業所の管理権原者等の意見や参加した人が検討した内容などをまとめて、全体評価、推奨事項、反省点欄にそれぞれ記入します。
- ⑬ 防火管理者等訓練実施結果表を作成した者の職・氏名を記入します。

〔裏面〕 訓練を実施した者の中で、各項目別に実技実施者及び体験者の氏名を記入します。なお、多数の者が実施した場合は可能な限り記入します。

※ 本表は、消防計画等と共に保管し、次回の訓練への反映及び訓練実施の証として活用します。

別表10 防火管理業務の一部委託状況表

(平成〇年〇月〇日現在)

防火対象物名称		株式会社 ○〇百貨店		再受託者の有無
管理権原者氏名		代表取締役 ○〇 ○〇		<input type="checkbox"/> 無し
防火管理者氏名		総務部長 ○〇 ○〇 印		<input checked="" type="checkbox"/> 一部有り
				<input type="checkbox"/> 全部
受託者の氏名及び住所等 〔法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地〕				受託者が再委託する場合記入
氏名(名称)	○○○○管理株式会社		○○○○警備株式会社	
住所(所在地)	○○市○○町○丁目○番○号		○○市○○町○丁目○番○号	
電話番号	TEL○○(○○○○)○○○○		TEL○○(○○○○)○○○○	
担当事務所	○○市○○町○丁目○番○号		○○市○○町○丁目○番○号	
電話番号	TEL○○(○○○○)○○○○		TEL○○(○○○○)○○○○	
〔教育担当者講習 修了者氏名〕	○○ ○〇		○○ ○〇	
〔講習修了証番号〕	○○○○		○○○○	
〔教育計画〕	○月と○月に実施する。		○月と○月に実施する。	
受託者の 行う 防火管理業務の 範囲及び 方法	常駐 方式	範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 火気使用箇所の点検監視業務 <input checked="" type="checkbox"/> 避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input checked="" type="checkbox"/> 初期消火 <input checked="" type="checkbox"/> 通報連絡 <input checked="" type="checkbox"/> 避難誘導 <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の可燃物の管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他(定期的な巡回)	<input type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 初期消火 <input checked="" type="checkbox"/> 通報連絡 <input checked="" type="checkbox"/> 避難誘導 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> その他()
		方法	常駐場所 1階防災センター 常駐人員 営業時間内15名、時間外5名 委託する防火対象物の範囲 全域 委託する時間帯 24時間体制	地下1階監視室 常時1名 全域 8時30分から17時30分まで
	巡回 方式	範囲	<input type="checkbox"/> 巡回による火気使用箇所の点検等監視業務 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> その他()
		方法	巡回回数 巡回人員 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯	
遠隔 移報 方式	範囲	<input type="checkbox"/> 火災異常の遠隔監視及び現場確認業務 <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合の初動措置 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 初期消火 <input type="checkbox"/> 通報連絡 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> その他()	
	方法	現場確認要員の待機場所 到着所要時間 委託する防火対象物の区域 委託する時間帯		

(備考) 「受託者の行う防火管理業務の範囲」については、該当する項目の□に✓印を付すこと。